

27年の歩み ひとは作業すると 元気になれる



若林尚美 [わかばやし・なおり]
八尾老人保健施設風の庭（富山県）
リハビリ係長、事務次長

私が作業療法士として働き始めたのは、1988年。作業療法士の就職先は、大部分が病院という時代でした。私も卒業後、県外の急性期病院で働き、1993年から医療法人社団藤聖会 ^{やっお} 八尾総合病院に入職、入院患者の作業療法や地域の在宅医療として訪問リハビリの経験もさせていただきました。2000年から介護保険制度が導入されるにあたり、1999年に併設の八尾老人保健施設「風の庭」に異動してから27年が経ちました。介護報酬改定があり、時代とともに老健施設の在り方も変わってきました。老健施設に入った当初は、リハビリ専門職は私1名でしたが、施設の入所定員数の増加（76名→106名→150名）と、在宅復帰という大きな役割を担うなかで、リハビリ専門職は現在17名となっています。

施設紹介

当施設は、富山県の中南部に位置し、飛騨山地に隣接する富山市八尾町にあります。毎年9月に「おわら風の盆」が行われる山あいにある坂の町です。1987年に八尾総合病院が開院、翌年の1988年に「風の庭」が開設されました。2018年に八尾総合病院が富山市 ^ふ 中町に病床を移転し、急性期病院「富山西総合病院」となったのに伴い、八尾総合病院は「八尾クリニック」に、「風の庭」はクリニック併設型の老健施設（入所定員：150名 通所リハビリ定員：70名）となりました。

藤聖会グループは、「富山西総合病院」を中心に連携を強化し、医療と介護・福祉に至るまでワンストップでサポートしています。病院3か所（急性期病棟199床・回復期病棟120床・地域包括ケア病棟45床）、クリニック4か所、介護医療院（定員48名）、特養2か所（定員各50名、35名）、サ高住5か所、老健施設3か所（定員各150名、130名、100名）、居宅介護支援事業所5か所、地域包括支援センター2か所、通所リハビ

リ5か所、通所介護4か所、訪問介護5か所、訪問看護2か所、訪問リハビリ3か所で構成されています。

「風の庭」がある八尾地域の人口は約1万8000人。八尾地域の出生数は年々減少して、人口減少が進んでおり、65歳以上の高齢化率は37.5%となっています。山間部の地域は、65歳以上の一人暮らしの割合が高くなっているのも特徴です。

業務内容

現在は作業療法士として携わる傍ら、リハビリ係長としてリハビリのマネジメント業務をしています。2年前から事務次長としての施設のマネジメント業務も担当しております。現在当施設には、理学療法士7名、作業療法士9名、言語聴覚士1名（非常勤）が在籍しています。

当施設は、2012年より在宅復帰委員会を立ち上げ、在宅復帰のために多職種で連携しています。在宅復帰・在宅支援をするために、リハビリ専門職は、利用者の身体機能、関わる家族、環境等の評価を行い、目標を設定し個別リハビリを実施します。看護師・介護職は、移動手段や排泄の方法などに関して、生活リハビリに取り組んでいます。在宅復帰への取り組みに「老健施設はリハビリをするところ」との看護師・介護職の理解・協力は欠かせません。しかしながら、2018年以降算定してきた超強化型ですが、最近は一人暮らしや老老介護の入所者が多くなってきて、これを維持することが大変になってきています。利用者の「家に帰りたい」という思いと家族の負担、不安をどのように解消できるか。ショートステイ等のサービスを織り交ぜながら在宅支援をしています。

入所者に嚥下状態が悪い方が多くなってきており、「栄養」「口腔」「リハビリ」の連携を強めています。適切な栄養をしっかりと安全に摂取することは、身体機